



当院で新しいMRI検査が始まります

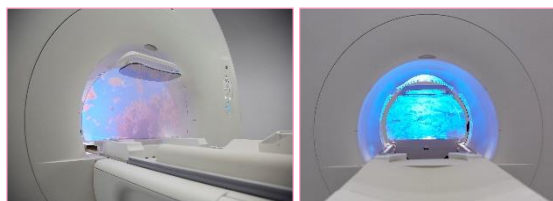
より、やさしく、はやく、きれいなMRI検査を求めて

2020年5月14日より新しい1.5テスラMRI装置が稼働します。新しい装置では、トンネル内への映像立体投影技術、真空を用いた静音技術、AIを用いた高画質化技術などの最新技術が搭載され、患者様にやさしい検査空間を提供しながら、よりはやく、より質の高い検査を行うことができますようになります。特に、関西初導入となる映像立体投影技術は、これまで閉所が苦手だった患者様でもストレスを軽減できる検査空間を提供いたします。

当院の最新MRIは患者様に4つの“やさしさ”を提供します

① 映像技術による開放的な空間

関西初



MR Theater

関西初、テレビCMでも話題の映像立体投影技術を導入します。視界を映像で包み込むことでトンネル内に疑似的に奥行きを生み出し、閉所が苦手な患者様でもストレスを軽減できます。

② 真空技術による検査音低減

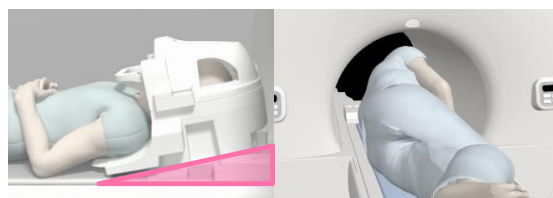


Pianissimo™

従来MRIは検査中に非常に大きな騒音が発生していました。最新MRIでは、この騒音の発生源を真空封入しているため、全ての検査音を低減し患者様の負担を軽減できます。

③ 大開口径を活かした検査

New 1.5T MRI



頭頸部チルト撮像

側臥位撮像

開口径が従来より11cm大きくなり、楽な姿勢で検査を行います。例えば、頭頸部に傾斜をつけた検査や、横向きでの検査が可能となるため、体が曲がった患者様、腰痛持ちの患者様の負担も軽減することができます。

④ 薬剤を一切使わない検査



非造影MRA

PET-like image

血管検査や全身がん検査では造影剤や薬剤を使用することが多いですが、腎臓が悪い方や糖尿病持ちの方には使用できない場合があります。最新MRIでは造影剤や薬剤を一切用いない血管検査や全身がん検査が可能となり、患者様を選ばない非侵襲的な検査を実現します。

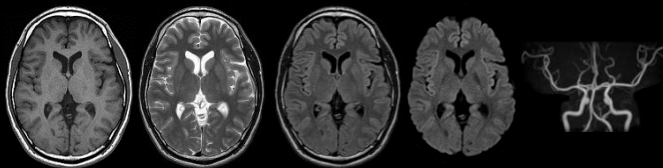
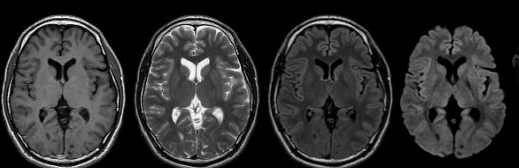
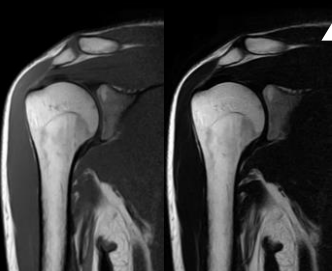
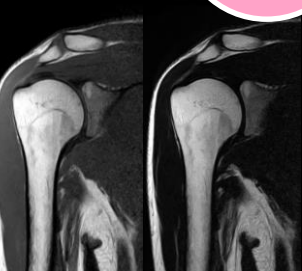
人工知能 (AI) を用いた画像処理技術 により検査をよりはやく、よりきれいに



AIによる画像処理技術を用いるとMRI検査で何が良くなる？

一般的に、MRIは検査時間が非常に長く、長時間仰向けもしくはうつ伏せで静止しなければならないというデメリットがあります。また、逆に、検査時間を短くするほど画質が劣化してしまう問題もあります。当院の最新MRIは、このような問題を軽減するためにAIを用いた最新の画像処理技術を搭載しています。これにより、従来のMRIよりも短時間で高画質な画像が得られ、質を犠牲にせずに検査を早く終わらせることができます。

クオリティや条件を落とさずに検査が早く終わる

Before AI		After AI	
 5コントラスト 12:34		 5コントラスト 06:18	最大 67% 時間短縮
 2コントラスト 06:00		 2コントラスト 01:56	
 2コントラスト 06:52		 2コントラスト 02:53	



検査時間そのままに画質劣化を抑えながら高精細化が可能に

Before AI		After AI	
